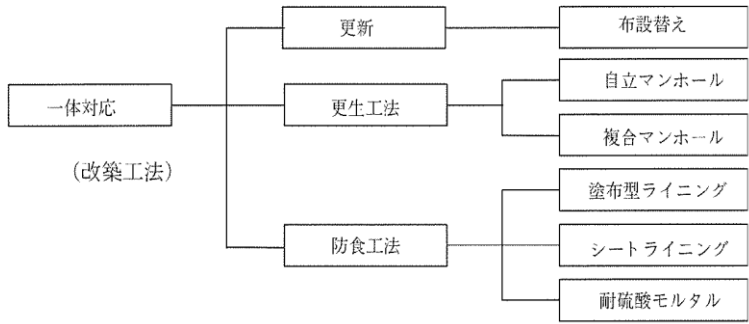


柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務委託に係る質問回答書 (E 社)

平成 30 年6月25日

番号	質疑文書	項目番号	質問事項	回答事項
1	ホームページ	質問に対する回答 別紙2	<p>別紙2に示されてます企画技術提案により改築を求める人孔数 215 箇所 の改築について、人孔の改築とは、更生工法(自立マンホール、複合マンホール)のみをお考えでしょうか、防食工法も含めた 考えでよろしいでしょうか</p> <p>参考</p>  <pre> graph LR A[一体対応 (改築工法)] --> B[更新] A --> C[更生工法] A --> D[防食工法] B --> E[布設替え] C --> F[自立マンホール] C --> G[複合マンホール] D --> H[塗布型ライニング] D --> I[シートライニング] D --> J[耐硫酸モルタル] </pre>	<p>下水道管路施設ストックマネジメントの手引き(2016 年日本下水道協会)によると、防食工法による内部防食は、標準耐用年数が 10 年と定められており、管路施設の改築・更新とは別に防食被覆層の改築・更新として取り扱われております。このため、基本的には躯体の耐用年数回復を目的とした、「更新」もしくは「更生工法」をご検討ください。ただし、防食工法による対策が特に有効と考えられる人孔については、協議により減額対象となりますが、提案をお受けします。また、技術提案評価の対象にもなります。</p>
2	要求水準書	P24 353(1)	<p>既設管の劣化度や耐震性能を評価するために行います構造調査の、シュミットハンマーによる試験、コア採取による圧縮強度試験、中性化試験について、発注段階における数量を御教授お願いします。また、構造物の劣化状況により発注段階の数量より多く必要になった場合は、別途協議という考えでよろしいでしょうか</p>	<p>既設管、既設人孔の構造調査は、経費に含むものとしますの で、受託者において実施してください。数量の変更についても、 原則、変更協議の対象とはなりません。</p>

3	様式集	<p>【様式 9】 配置予定 技術者調 書</p>	<p>配置予定技術者の過去 10 年間(H20～H29)の同種又は類似業務実績の添付資料として、契約書(写し)、仕様書(写し)及びそれに付随する技術者届(写し)等とありますが、技術者届(写し)とは、CORINS 等への登録がない場合、(下請、資材供給、技術指導等の実績)具体的にどのような書類を添付すればよろしいでしょうか。</p> <p>配置予定技術者の所属する会社印がついた経歴書でもよろしいでしょうか。</p>	<p>配置予定技術者の所属する会社印がついた経歴書と経歴書に記載された工事の施工体制台帳の写しをご提出ください。</p>
---	-----	--	--	--